平成25年３月期　第２四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月14日

上 場 会 社 名	株式会社ギガプライズ	上場取引所	名
コ ー ド 番 号	3830	URL	http://www.gigaprize.co.jp/
代　　表　　者	(役職名) 代表取締役	(氏名)	檀野　敬
問合せ先責任者	(役職名) 管理部	(氏名)	木村 賢治　　(TEL) 03-5459-8400
四半期報告書提出予定日	平成24年11月14日		

四半期補足説明資料作成の有無　　：無
四半期決算説明会開催の有無　　：有　(機関投資家向け　　)

(百万円未満切捨て)

１．平成25年３月期第２四半期の連結業績（平成24年４月１日～平成24年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年３月期第２四半期	964	5.1	38	△0.2	37	4.6	23	22.4
24年３月期第２四半期	917	△2.0	38	△47.0	35	△51.9	18	△56.8

(注) 包括利益 25年３月期第２四半期　16百万円(△11.4%) 24年３月期第２四半期　18百万円(△56.9%)

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年３月期第２四半期	1,816.89	1,809.96
24年３月期第２四半期	1,479.09	1,476.25

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年３月期第２四半期	1,228	673	53.4
24年３月期	1,264	645	51.0

(参考) 自己資本 25年３月期第２四半期　655百万円　24年３月期　645百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年３月期	－	－	－	1,000.00	1,000.00
25年３月期	－	－			
25年３月期(予想)			－	1,000.00	1,000.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：無

配当の状況に関する注記

３．平成25年３月期の連結業績予想（平成24年４月１日～平成25年３月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,200	12.5	163	27.9	160	28.6	86	25.3	6,753.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動　　：有

（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

新規　　1社（社名）アイ・シンクレント株式会社、除外　　社（社名）

期中における重要な子会社の異動に関する注記

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：無

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：有

②　①以外の会計方針の変更　　：無

③　会計上の見積りの変更　　：無

④　修正再表示　　：無

会計方針の変更に関する注記

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年３月期２Ｑ	14,106株	24年３月期	14,106株
②　期末自己株式数	25年３月期２Ｑ	1,371株	24年３月期	1,371株
③　期中平均株式数（四半期累計）	25年３月期２Ｑ	12,735株	24年３月期２Ｑ	12,778株

発行済株式数に関する注記

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料６ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… ４
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… ４
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… ５
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… ６
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 …… ７
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… ７
（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… ７
３．四半期連結財務諸表 …… ８
（１）四半期連結貸借対照表 …… ８
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 10
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 12
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 13
（５）セグメント情報等 …… 13

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間における世界経済は、欧州においては財政危機・金融資本市場不安の長期化・深刻化により消費や投資意欲が継続的に減退すると共に、米国の雇用・個人消費の回復ペースも緩慢な状況が継続しております。主要先進国の景気の後退・停滞は中国をはじめとする新興国にも更に波及し、輸出の陰りが鮮明にみられるなど新興国においても景気の減速局面が長期化の様相を呈しており、世界経済をめぐる不確実性が引き続き高まっております。

一方、我が国経済は、復興関連需要などから国内需要を中心に景気回復傾向にありましたが、継続的な海外経済の減速並びに円高の定着は輸出の下押し要因となり、景気回復を緩やかなものから低下傾向に変遷しつつあります。

このような状況下で、HomeIT事業におきましては、マンション業界における供給戸数増と相俟って、マンション向けISPの新規分譲マンションにおける契約数を回復させることができ、さらに賃貸マンション向けの営業を強化した結果、サービス戸数を増加させることができました。また、将来のサービス戸数の拡大に向けて、不動産管理会社との提携や代理店の開拓を進めるとともに、首都圏に集中していた営業エリアを拡大すべく本年６月に福岡営業所を開設いたしました。

システム開発事業につきましては、企業等の情報化投資は依然として抑制傾向にあり、顧客の値下げ要求も根強いなど、引き続き厳しい経営環境が続いておりますが、既存顧客との取引拡大に注力するとともに、外注費の抑制や業務効率化に取り組み収益改善に努めてまいりました。

さらに、新規事業への取り組みとして、本年６月29日付けで株式を取得いたしました当社連結子会社のアイ・シンクレント（株）において、1,336万戸の民間賃貸住宅（国土交通省平成20年賃貸住宅統計より）で発生する家賃市場に対する賃貸家賃クレジットカード収納サービス及び家賃保証業務を11月より開始すべく、システムの開発や営業体制の整備などを実施いたしました。

上記の通り、積極的な先行投資を実施している状況ではありますが、顧客数の拡大と継続的な収益改善の結果、当第２四半期連結累計期間における経営成績は売上高964百万円（前年同期比5.1％増）、営業利益38百万円（前年同期比0.2％減）、経常利益37百万円（前年同期比4.6％増）、四半期純利益23百万円（前年同期比22.4％増）となりました。

セグメント別の状況は次のとおりであります。

① HomeIT事業

マンション向けISP事業につきましては、新築分譲マンション向けのサービス契約数は、国内分譲マンションの竣工数の回復とともに増加し、さらに昨年より営業を強化しております小規模賃貸マンション向けのサービスが順調に推移し、前連結会計年度末と比べ契約数の大幅な増加を実現いたしました。一方、サービス提供中マンションにおいては、回線品質向上工事の実施並びにサービスメニューの強化等、利用者サービスの充実を図った結果、解約数を減少させることができ、当第２四半期連結累計期間におけるサービス戸数は前連結会計年度末に比べ3,700戸増の36,732戸となりました。今後につきましては、引き続き不動産管理会社との提携や代理店開拓を強化していくとともに、連結子会社（株）ESPやアイ・シンクレント（株）との連携を図り、相互に商材を販売するなど、グループシナジーを発揮すべく営業活動に取り組んでまいります。

ネットワーク事業につきましては、サーバ等のレンタルを行うホスティングサービスやネットワーク機器やサーバの運用・監視を行うマネージド・サービス・プロバイダー（MSP）サービスにおいて、システム開発事業部門と連携して顧客基盤の拡充を図り、新規取引先を獲得した結果、堅調に推移いたし

ております。

こうした事業活動の結果、当第２四半期連結累計期間における売上高は、691百万円（前年同期比12.8%増）となりました。

② システム開発事業

システム開発事業につきましては、引き続き厳しい経営環境が続いており、既存顧客との取引拡大に注力するとともに、外注費の抑制や業務の効率化に取り組んでまいりました。また、当社子会社の（株）ESPが保有する不動産賃貸管理ソフトウェアの販売を強化するとともに、不動産業界向けのシステム開発やネットワークサービスの提案を積極的に進めてまいりました。

こうした事業活動の結果、当第２四半期連結累計期間における売上高は、258百万円（前年同期比10.8%減）となりました。

③ その他事業

その他事業につきましては、人材派遣等を行った結果、当第２四半期連結累計期間における売上高は、14百万円（前年同期比1.7%増）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第２四半期連結会計期間末における資産につきましては、現金及び預金が87百万円減少、受取手形及び売掛金が47百万円減少、たな卸し資産が52百万円増加し、流動資産合計は、前会計年度末に比べ56百万円の減少となりました。また、固定資産合計は、前会計年度末に比べ20百万円増加しました。その結果、資産合計は前連結会計年度末に比べ36百万円減少し、1,228百万円となりました。

負債につきましては、流動負債では支払手形及び買掛金13百万円の減少、固定負債では長期借入金73百万円減少しました。その結果、負債合計は前連結会計年度末に比べ64百万円減少し、554百万円となりました。純資産合計につきましては、673百万円となりました。

この結果、自己資本比率53.4%となっております。

② 資金の源泉

当第２四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物は、資産合計の45.2%を占める554百万円であり、当該残高に加え、未使用の借入枠を勘案すると、将来の予測可能な運転資金及び資本的支出等の資金需要に対して十分な財源が存在すると考えております。

③ キャッシュ・フローの状況

当第２四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ87百万円減少し、554百万円となりました。

当第２四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は、次のとおりであります。

a．営業活動によるキャッシュ・フロー

当第２四半期連結累計期間において営業活動の結果増加した資金は22百万円（前年同期比17百万円収入増）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が36百万円、減価償却費15百万円、のれん償却費14百万円、売上債権の減少が47百万円、仕入債務の減少が13百万円になったことによるものです。

b．投資活動によるキャッシュ・フロー

当第２四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は、25百万円（前年同期比32百万円支出減）となりました。これは主に、有形固定資産及び無形固定資産の取得による支出15百万円、並びに投資有価証券の取得による支出14百万円によるものであります。

c．財務活動によるキャッシュ・フロー

当第２四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は、83百万円（前年同期比17百万円支出減）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出80百万円、配当金の支払額による支出12百万円によるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成25年３月期の通期業績につきましては、平成24年５月14日付当社「平成24年３月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」にて発表いたしました予想から変更はありません。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

平成24年６月29日にアイ・シンクレント株式会社の株式を取得したことに伴い、連結子会社となりました。

この結果、当社の企業集団は、当社、親会社２社及び連結子会社２社の５社で構成されることとなりました。

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第２四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ増加しておりますが、その影響額は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	642,327	554,819
受取手形及び売掛金	330,476	282,684
仕掛品	16,601	68,049
原材料及び貯蔵品	10,786	11,370
その他	26,132	52,443
貸倒引当金	△7,952	△7,606
流動資産合計	1,018,371	961,761
固定資産		
有形固定資産	136,651	140,294
無形固定資産		
のれん	69,545	67,880
その他	24,219	26,560
無形固定資産合計	93,765	94,441
投資その他の資産	15,617	31,689
固定資産合計	246,033	266,425
資産合計	1,264,405	1,228,187
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	89,559	76,542
1年内返済予定の長期借入金	161,736	164,544
リース債務	－	665
未払法人税等	31,403	24,691
資産除去債務	－	5,195
その他	72,363	90,901
流動負債合計	355,062	362,540
固定負債		
長期借入金	254,324	180,648
リース債務	－	2,328
退職給付引当金	4,820	7,000
資産除去債務	5,147	2,197
固定負債合計	264,291	192,174
負債合計	619,353	554,715

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	192,160	192,160
資本剰余金	112,355	112,355
利益剰余金	454,390	464,793
自己株式	△114,196	△114,196
株主資本合計	644,709	655,112
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	342	311
その他の包括利益累計額合計	342	311
少数株主持分	―	18,048
純資産合計	645,052	673,472
負債純資産合計	1,264,405	1,228,187

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
売上高	917,397	964,539
売上原価	679,228	650,272
売上総利益	238,169	314,266
販売費及び一般管理費	199,303	275,464
営業利益	38,865	38,802
営業外収益		
受取利息	189	156
貸倒引当金戻入額	191	417
その他	54	30
営業外収益合計	435	604
営業外費用		
訴訟関連費用	1,200	－
支払利息	2,313	1,902
その他	195	269
営業外費用合計	3,709	2,171
経常利益	35,592	37,235
特別損失		
事務所移転費用	1,525	993
特別損失合計	1,525	993
税金等調整前四半期純利益	34,067	36,242
法人税、住民税及び事業税	15,153	23,197
法人税等調整額	13	△3,731
法人税等合計	15,167	19,465
少数株主損益調整前四半期純利益	18,900	16,776
少数株主損失（△）	－	△6,361
四半期純利益	18,900	23,138

四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	18,900	16,776
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2	△31
その他の包括利益合計	△2	△31
四半期包括利益	18,897	16,745
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	18,897	23,107
少数株主に係る四半期包括利益	－	△6,361

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	34,067	36,242
減価償却費	17,693	15,888
のれん償却額	11,706	14,708
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△191	△346
受取利息及び受取配当金	△189	△156
支払利息及び社債利息	2,313	1,902
売上債権の増減額（△は増加）	54,127	47,791
たな卸資産の増減額（△は増加）	△38,950	△52,032
仕入債務の増減額（△は減少）	△39,033	△13,016
退職給付引当金の増減額（△は減少）	3,066	2,180
その他	△5,527	496
小計	39,082	53,656
利息及び配当金の受取額	103	146
利息の支払額	△2,326	△1,935
法人税等の支払額	△32,173	△29,861
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,686	22,006
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△58,422	△8,115
無形固定資産の取得による支出	△3,823	△7,411
投資有価証券の取得による支出	－	△14,400
差入保証金の回収による収入	3,671	－
差入保証金の差入による支出	－	△1,836
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	－	6,603
その他	－	△692
投資活動によるキャッシュ・フロー	△58,574	△25,852
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	－	10,000
長期借入金の返済による支出	△87,568	△80,868
自己株式の取得による支出	△1,084	－
配当金の支払額	△12,702	△12,619
リース債務の返済による支出	－	△174
財務活動によるキャッシュ・フロー	△101,354	△83,661
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△155,243	△87,508
現金及び現金同等物の期首残高	720,823	642,327
現金及び現金同等物の四半期末残高	565,580	554,819

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報等

Ⅰ　前第２四半期連結累計期間(自　平成23年４月１日　至　平成23年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他（注）	合計
	HomeIT事業	システム開発事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	612,989	290,215	903,205	14,192	917,397
計	612,989	290,215	903,205	14,192	917,397
セグメント利益又は損失（△）	69,702	△32,566	37,135	1,730	38,865

（注）その他は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、派遣事業を含んでおります。

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	37,135
「その他」の区分の利益	1,730
四半期連結損益計算書の営業利益	38,865

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間(自　平成24年４月１日　至　平成24年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他（注）	合計
	HomeIT事業	システム開発事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	691,236	258,865	950,101	14,437	964,539
セグメント間の内部売上高又は振替高	525	―	525	―	525
計	691,761	258,865	950,626	14,437	965,064
セグメント利益又は損失（△）	39,854	22,200	62,054	△23,252	38,802

（注）「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、派遣事業を含んでおります。

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	62,054
「その他」の区分の損失	△23,252
四半期連結損益計算書の営業利益	38,802

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（のれんの金額の重要な変動）

「その他」セグメントにおいて、平成24年６月29日にアイ・シンクレント株式会社を第三者割当増資により取得しております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第２四半期連結累計期間において13,043千円であります。